



新しい年を迎えて

令和初の新年、郡上のさらなる成長を

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、「令和」になって初めての新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、郡上市にとりまして多くの「うれしいこと」がありました。東海北陸自動車道白鳥ICへ飛驒清見IC間の四車線化の完成、国道一五六号「郡上大橋架替工事」の事業化決定、「濃飛横断自動車道八幡く和良間」事業化への準備本格化、郡上鮎の豊洲市場初出荷と和良鮎の「清流めぐり利き鮎会」V4達成、東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたニカ国目となるホストタウン登録（マガガスカル共和国の七人制女子ラグビー）、それら取組みが評価されたことによる同大会「聖火リレー県内ルート」の一つに郡上市が選定（本年四月四日実施予定）、（仮称）めいほうトンネルの貫通等々、これからの展開に大きな期待を寄せるものもいくつもありました。また、郡上市滞在型コンベンション施設「ホテル積翠園」改修工事や吹高原スポーツ広場の人工芝生グラウンド、文化振興の拠点となる「短歌の里交流館よぶこどり」、新たなまちづくりを担う「郡上八幡 町屋敷越前屋」などが相次いで竣工いたしました。これら施設を、市民の皆様

に有効に活用いただくとともに、市外に向けましても広く発信し、郡上市の産業・文化・スポーツの振興等々に活かしてまいりたいと存じます。

また、今年三月以降は、合併・市制施行十七年目へと入ってまいります。これまでの十六年間の歩みを「基礎づくり」の期間とするならば、これからは郡上市が真に一つの都市自治体として成長していく「青年期」の大切な時期であると考えます。人口減少への対応、人手不足下の地域経済の振興、公共施設の適正配置・再編等々と、相変わらず課題は山積しておりますが、郡上市の誇るべき「自然」「文化」「風土」「人」等々たくさんの「宝」を更に磨き、魅力ある「ふるさと郡上」づくりに向け、皆さん一緒になって力強く取り組みましょう。

「令和」という新元号のもと、幸せ多き時代を願うものであります。災害への備え、心構えを新たにするとともに、「災害に強いまちづくり」にも一層努めてまいります。

新しい年が、皆様にとって佳い年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

郡上市長

日置敏明



新年のご挨拶

平成の時代を振り返って

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃は議会活動に対し、格別のご理解と温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は元号が「平成」から「令和」へと変わり、普段の生活の中で一つの区切りができたような年であったような気がします。市では4月30日から5月1日に行われた「郡上おどりで令和を迎える」イベントが全国的にマスクミに取り上げられて、広く「郡上市」と「郡上おどり」が注目され、それに伴い、いつもより多くの議会などから視察団が増え、市が行う「移住定住」「観光」「水力発電」などの各施策や「議会活動」等あらゆる分野に関心を向けられた年でもありました。

平成の時代を振り返ってみますと、唯一、紛争や戦争がなかったという意味では平和な時代でありましたが、悲しい自然災害の多い時代であったと思います。

本市に目を向けても、いくつかの大きな災害がありました。また、壊滅的な被災がなかったことは幸いであつたと思うところ。人口減少が深刻さを増すなかで、合併したことで災害対策などには、体力強化することができたのではないだろうか。

私たち議会も各地を細かく回り、より多くの住民の皆様からご意見を承り、防災だけでなく子育てや、働く場所の確保等々、活気ある住みよい地域づくりに取り組んで行きたいと考えていますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が市民の皆様にとって幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

郡上市議会議長

兼山悌孝